

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成21年11月19日(2009.11.19)

【公開番号】特開2008-129231(P2008-129231A)

【公開日】平成20年6月5日(2008.6.5)

【年通号数】公開・登録公報2008-022

【出願番号】特願2006-312623(P2006-312623)

【国際特許分類】

G 03 B 42/04 (2006.01)

A 61 B 6/00 (2006.01)

【F I】

G 03 B 42/04 A

A 61 B 6/00 300 S

A 61 B 6/00 300 W

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月6日(2009.10.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

カセッテ内に放射線像を検出する2次元アレイ型の放射線検出センサを収容したカセッテ型放射線画像検出器であって、

前記放射線検出センサを支持するセンサ支持部材と、

前記センサ支持部材に設けられた第1の係合部材と、

放射線入射側とは反対側の前記カセッテ内面に前記第1の係合部材に対応して設けられた第2の係合部材と、

前記第1の係合部材と前記第2の係合部材との間に配置される緩衝部材と、

を有することを特徴とするカセッテ型放射線画像検出器。

【請求項2】

前記第1の係合部材は、前記センサ支持部材から前記カセッテ内面に向けて突出する第1の突出部であることを特徴とする請求項1に記載のカセッテ型放射線画像検出器。

【請求項3】

前記第1の突出部は、前記センサ支持部材の平面方向に沿って延在していることを特徴とする請求項2に記載のカセッテ型放射線画像検出器。

【請求項4】

前記カセッテは直方体形状であり、前記第1の突出部は、前記カセッテの放射線入射面と直交する一側面の方向に沿って延在していることを特徴とする請求項3に記載のカセッテ型放射線画像検出器。

【請求項5】

前記第1の突出部は、前記一側面と直交する他の側面の方向に沿って延在していることを特徴とする請求項4に記載のカセッテ型放射線画像検出器。

【請求項6】

前記第2の係合部材は、前記カセッテ内面から前記センサ支持部材に向けて突出する第2の突出部であることを特徴とする請求項1～5の何れか一項に記載のカセッテ型放射線画像検出器。

## 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

上記課題は、以下の発明を実現することにより達成される。

1. カセッテ内に放射線像を検出する2次元アレイ型の放射線検出センサを収容したカセッテ型放射線画像検出器であって、

前記放射線検出センサを支持するセンサ支持部材と、

前記センサ支持部材に設けられた第1の係合部材と、

放射線入射側とは反対側の前記カセッテ内面に前記第1の係合部材に対応して設けられた第2の係合部材と、

前記第1の係合部材と前記第2の係合部材との間に配置される緩衝部材と、

を有することを特徴とするカセッテ型放射線画像検出器。

2. 前記第1の係合部材は、前記センサ支持部材から前記カセッテ内面に向けて突出する第1の突出部であることを特徴とする1項に記載のカセッテ型放射線画像検出器。

3. 前記第1の突出部は、前記センサ支持部材の平面方向に沿って延在していることを特徴とする2項に記載のカセッテ型放射線画像検出器。

4. 前記カセッテは直方体形状であり、前記第1の突出部は、前記カセッテの放射線入射面と直交する一側面の方向に沿って延在していることを特徴とする3項に記載のカセッテ型放射線画像検出器。

5. 前記第1の突出部は、前記一側面と直交する他の側面の方向に沿って延在していることを特徴とする4項に記載のカセッテ型放射線画像検出器。

6. 前記第2の係合部材は、前記カセッテ内面から前記センサ支持部材に向けて突出する第2の突出部であることを特徴とする1～5項の何れか一項に記載のカセッテ型放射線画像検出器。